

提供日 2014/1/

タイトル 「そして、つながる。—文化・劇場が持つチカラ—」シリーズ

担当 公益財団法人静岡県文化財団 企画制作課

連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団

記者提供資料

東日本大震災から3年、グランシップでは文化芸術や劇場のあり方を改めて考えます。

## 「そして、つながる。—文化・劇場が持つチカラ—」

～写真展・フォーラム・伝統芸能・音楽を通して、未来へつなぐ～

### 1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、東日本大震災から3年が経つ今、改めて文化芸術や劇場が、地域の中でどのような役割や機能を担うのかを考えます。

多彩な公演を通して東北地方への思いを込め、災害を身近に感じる静岡から文化芸術を通して様々なつながりを築きます。

### 2 概要

| 区分    | 内容   |
|-------|--|
| シリーズ名 | 「そして、つながる。—文化・劇場が持つチカラ—」   |
| 対象事業  | <p>■ぼくたちの3年～写真展「生きる」から見えるもの～（写真展）<br/>3/8（土）～30（日）10:00～17:00 6階展示ギャラリー<br/>東日本大震災直後の様子を撮影した記録写真と、復興に向けて人々が「生きる」姿を捉えたこの3年間の様子など約130点を展示する写真展。</p> <p>■第27回地域文化活動賞記念フォーラム「文化・劇場が持つチカラを考える」（フォーラム）<br/>3/9（日）14:00～ 11階会議ホール・風<br/>被災地でベネズエラ発祥の音楽を通じた青少年育成プログラムを実践しているエル・システムジャパンの代表者、いわき芸術交流館アリオスの職員などを招き、震災時、震災後における文化芸術の力や希望について考えるフォーラム。文化活動に関わる人々のネットワークづくりの場となる交流会も開催。</p> <p>■グランシップ寄席一語・縁一（語り）<br/>3/14（金）18:30～ 6階交流ホール<br/>人気の落語家柳家さん喬が、震災4日後に出演した「グランシップ名人会」から3年ぶりに登場。また、岩手県遠野市の“遠野の語り部”も出演し、語りの魅力をたっぷり楽しめる。遠野市は静岡県ボランティア協会が活動拠点として震災後38週にわたり訪問していた静岡県とも縁のある地。</p> <p>■さくら能（伝統芸能）<br/>3/16（日）14:00～ 中ホール・大地<br/>観世流能楽師による能「二人静」と、岩手県宮古市の「黒森神楽」による特別公演。桜の開花に明るい希望を見出す日本人の心模様。幽玄の世界を表現する能楽に鎮魂の思いを込め、また被災地で江戸時代以前から伝わる黒森神楽から日本の伝統芸能が担ってきた役割を改めて感じられる公演。</p> <p>■バッハ・コレギウム・ジャパン「J.S.バッハ《マタイ受難曲》BWV244」（音楽）<br/>4/12（土）15:00～ 中ホール・大地<br/>イエス・キリストの壮大なドラマを描いた3時間に及ぶ大曲。苦しみが多いこの世にあって人も人はなぜ生きられるのかを問いかける。“生へつながる”音楽として復興への希望にもつながる音楽の公演。</p> |
| 主催    | 公益財団法人静岡県文化財団、静岡県  |

### 3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：（公財）静岡県文化財団 企画制作課 電話 054-203-5714 （担当：渡邊）